**既存のWPI拠点を有するホスト機関の将来計画**

**1. 既存のWPI拠点に対するホスト機関の支援**

|  |
| --- |
| **年次計画（平成30年～平成33年(2021年)）** |
| **＜資金＞ 　　　 　　（百万円）** |
| **年　度** | **H29年度**（H29の実績を記入） | **H30年度**（H30.4月時点） | **H31年度(2019年度)**（H30.4月時点） | **H32年度(2020年度)**（H30.4月時点） | **H33年度(2021年度)**（H30.4月時点） |
| * ホスト機関からの措置額

（内訳）人件費事業推進費旅費設備備品等費研究プロジェクト費* 外部資金額
* 合計額
 | （内訳） | （内訳） | （内訳） | （内訳） | （内訳） |
| **＜人員＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　（人）** |
| **年　度** | **H29年度**（H29の実績を記入） | **H30年度**（H30.4月時点） | **H31年度****(2019年度)**（H30.4月時点） | **H32年度****(2020年度)**（H30.4月時点） | **H33年度****(2021年度)**（H30.4月時点） |
| * 総人員

教員（研究職員）うち専任うち併任* ポスドク
* RA等
* 研究支援者
* 事務職員
 |  |  |  |  |  |

**平成28年度WPIプログラム委員会時からの変更点**

* ※平成28年度WPIプログラム委員会時からの変更点について、主な変更点、変更理由について記載すること

**2. 既存のWPI拠点の成果のホスト機関全体への波及**

* これまでの世界トップレベル研究拠点形成の過程で達成された成果を、ホスト機関全体に波及させ、機関自らの改革へとつなげた例、及びその後の展開について、具体的かつできるだけ定量的に示すこと。